

第5回新潟地域看護研究会

保健師の実践を可視化する

自治体で活動する保健師には、複雑化する保健福祉ニーズへの対応、効果的な保健福祉施策の展開、地域包括ケアシステムの構築など多様かつ高い専門性が求められています。

地域看護専門看護師(地域看護CNS)は、これらの課題への対応や人材育成等に寄与する高い実践能力をもつ保健師として活躍が期待され、現在、新潟大学で自治体の保健師3名が学んでおられます。

今回、本研究科では質の高い保健師活動を可視化する地域看護CNSの実践と役割について考えたく、下記のとおり研究会を企画しました。質の高い地域保健活動の実践について一緒に考えてみませんか？

参加費無料
事前申し込み

[日時] 2019年9月28日(土) 10:00~12:00 (受付 9:30~)

[会場] 新潟大学大学院保健学研究科 B41講義室

[対象] 自治体や地域包括支援センター等に勤務する保健師や地域看護CNSに関心のある方ならどなたでも参加できます

●講演 『保健師の高度実践を可視化する』

質の高い実践とそれを可視化(見える化)する意義と方策について、地域看護CNSとしての実践例を踏まえ、参加者が日ごろの活動に大いに活かせるお話をいただきます。

講師: 大阪府高槻市子ども保健課 保健師(地域看護CNS) 新家 静 氏

●パネルディスカッション

『地域に根付いた地域看護CNSの活用が活動を豊かにする』

現在、県内で活動している地域看護CNS、大学院生、県の人材育成の立場から、保健師の実践の質を高めるための方法と展望について語り合います。

座長: 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小林 恵子

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|--------|
| パネリスト: | 上越市人事課 | 保健師長(地域看護CNS) | 小林奈緒子氏 |
| | 新潟県人事課 | 主査(地域看護CNS) | 室岡 真樹氏 |
| | 新潟大学大学院保健学研究科地域看護CNSコース、長岡保健所 | | 今村 円香氏 |
| | 新潟県医師・看護職員確保対策課 | 副参事 | 山田 洋子氏 |

2016年度のシンポジウム参加者の声



・事業を実施していくなかで、手探りでやっていることがある。“つなぐ方策”“課題の本質”“価値の対立”など、その場に応じた相談に、CNSにタイムリーに応じてもらえたらと思った。

・実践を「見える化」する際、研究的な視点で考え、組み立てるための支援をCNSに期待したい。

・県内の保健師の大量退職が迫っている中で、これまでの先輩方の保健師活動伝承のための保健活動の言語化や人材育成にCNSを活用したい。

・現場でのコンサルテーションやコーディネーションなど、保健師一人ひとりの力量アップのための研修への支援をCNSに期待したい。



お申込み
お問い合わせ

メールの件名を「新潟地域看護研究会申込」とし、ご氏名とご所属を記載のうえ、9月20日(金)までにE-mailでお申し込みください。なお、当日参加も可能です。

新潟大学大学院保健学研究科 地域看護学領域 (担当 齋藤)
TEL&FAX:025-227-2399 E-mail:chiiki@clg.niigata-u.ac.jp

交通・アクセス

○バスご利用の場合

JR新潟駅(萬代口)・駅前バスターミナルより

B1 BRT 万代橋ライン「東中通」(緑色)下車、徒歩約5分

C2 浜浦線「附属学校入口」(オレンジ色)下車、徒歩約1分

○自家用車ご利用の場合

職員用駐車場をご利用いただけます。保健学科正門よりお入りください。病院患者用駐車場は有料となりますので、ご注意ください。

